

東建パブリニュース

平成30年11月8日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成30年10月29日 中日新聞 P.12

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

珠玉の名刀 46振り展示

桑名で「村正」特別展

室町時代から江戸時代初期まで続いた刀鍛冶の名跡「村正」の刀を主役に、五カ所の名産地で鍛えられた名刀の数々を紹介する特別展「村正Ⅱ―村正と五箇伝―」が、三重県桑名市京町の市博物館で開かれている。十一月二十五日まで。

村正は十六世紀初頭から数代にわたり、伊勢国桑名を拠点に活躍。大量生産で戦国の世の需要に応え、切れ味が良いことから三河武士を中心に広く普及した。徳川家康の祖父の殺害や長男の自害の際に用いられたとの逸話から「妖刀」の伝説も生まれ、刀剣ファンの間で高い知名度を誇る。

今回は計四十六振りを展示し、うち二十振りが村正、二振りが弟子の作。一



名刀の数々を展示する特別展―三重県桑名市博物館で

五―三年の制作年と「妙法蓮華経」の銘が刻まれた通称「妙法村正」は村正作の刀剣では唯一の重要美術品で、十五年ぶりに一般公開された。また、刀剣コレクションで知られる東建コーポレーション(名古屋市中)が重要文化財二振り、重要美術品七振りをはじめとする名刀を特別出品。備前伝、美濃伝など五つの名産地の作風を比較鑑賞できる。

一般千円。月曜休館。同館 0594(21)3171

以上